

第12回新生東京女子医科大学のための諮問委員会要録

日時：令和6年12月21日（土）午前7時55分から午前11時40分

同席者：清水理事長、山中学長

議題1 新理事長との意見交換

理事会が抱える課題として、大学がこれから進むべき方向性、ガバナンス改革、財務再建改革、医療安全の堅持、風土改革、学内理事のリテラシー向上等について意見交換を行った。

議題2 経過報告（前回諮問委員会以降）

- 選考委員長から、第5回役員・評議員候補者選考委員会の審議結果（理事1人の選出）等について報告があった。
- 12月6日臨時理事会の決定事項、討議内容等について学長(前理事長)から報告があった。
 - ・理事長選任、病院長選任および新理事長の補佐体制について報告。
 - ・12月9日職員説明会および12月13日記者会見開催について報告。

議題2-2 選任内規（理事会からの諮問）

- 現在の暫定選任内規は12月末で廃止されるため、役員等選任内規、学長選任内規および病院長(本院、足立医療センター、八千代医療センター)選任内規の案について意見交換。暫定内規を検討した段階で学内から出された意見のうち先送りした意見の反映、改定案が固まった段階での学内開示について要望。
次回の諮問委員会までに、諮問委員会としての意見をまとめ、理事会に答申することとする。

議題3 ステークホルダーとの対話

- イントラ(女子医大再生プロジェクト)への新規投稿内容および理事会からの回答内容について確認。

議題4 財務諸表について

- 収支報告や中長期資金計画等の資料を用い、病院の損益分岐点等について現状を把握、意見交換がなされた。
- 財政再建に関して、理事会に対し、財務再建が理事会の最優先課題であること、理事の財務に関するリテラシーの向上、理事会の検討体制とスケジュール、理事会が検討すべき主要事項（収入の最大化、経費の最小化、事業計画（中期・単年度）と予算の連動、予実管理（予算と実績の乖離の把握とそれへの対応）、施設・設備の整備、ボトムアップ提案の仕組み）、学内の危機意識の醸成と財務改革への理解促進等について、提言した。

議題5 3病院病院長との意見交換

○3病院病院長から所信表明のあと、3病院の連携その他、病院経営改革の課題等について意見交換がなされた。

次回：1月25日(土)の予定

以上